

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 月1 /火1 /水2 /水4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 II German II		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 月1:E8-10, 火1:La-c,水2:F27-28, 水4:P19	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:ファーデン・ゲアハルト / Eメールアドレス:g-faden@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室:環境科学部一階 / オフィスアワー:授業の前後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい</p> <p>初めてドイツ語を習う学生が、言葉だけでなく、ドイツの社会・生活・文化などにも触れることができるよう配慮します。ドイツ語の学習が契機となって、学生がドイツ語のみならず、ドイツ語圏文化に興味を抱いてくれることを期待しています。</p> <p>授業方法(学習指導法)</p> <p>ドイツ語の ABC から始まり、文法の順を追って次第に程度を高めながら、ドイツ語の基礎を学習します。練習問題を通じて文法の基礎を身につけます。ビデオと映画も利用します。</p> <p>授業到達目標</p> <p>日常的な場面ですぐ使える表現の学習。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>基礎文法事項と簡単な会話。</p> <p>第1回～第2回 前期の復習</p> <p>第3回 接続詞</p> <p>第4回 命令法</p> <p>第5回 形容詞の変化</p> <p>第6回 動詞の過去形</p> <p>第7回 過去分詞</p> <p>第8回 関係代名詞</p> <p>第9回 受動態</p> <p>第10回～第12回 会話の練習</p> <p>第13回～第14回 まとめ</p> <p>第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	ドイツこころのふるさと・ビデオで学ぶメルヘンと伝説(朝日出版社)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的な参加状況、授業に対する態度(20%)等を総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			